

# 舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり実施計画【概要版】

## 1. 赤れんが周辺等まちづくり事業とは

防衛省「まちづくり支援事業」を活用して、本市の観光戦略拠点である「舞鶴赤れんがパーク」を中心に、周辺地域を一体的に整備し、日本有数の一大交流拠点をつくるべく、市街地も含めたエリアマネジメントにより、「海軍ゆかりのまち舞鶴」のブランドを形成します。

### 【経過】

- ◆赤れんが周辺等まちづくり基本構想策定(平成27年度)  
対象エリアの設定、機能配置等の考え方を整理
- ◆赤れんが周辺等まちづくり基本計画策定(平成28年度)  
構想に基づく施設整備の方向性、民間活力の導入とエリア運営手法の検討
- ◆赤れんが周辺等まちづくり実施計画策定予定(平成29年度)  
基本計画に定める整備内容の具体化

## 2. 全体コンセプト

近代日本の礎を築いた海軍ゆかりの物語を伝え、舞鶴の人々の営みや英知を発信し、未来を創造する拠点をつくります。

美しい海と山に包まれた赤れんが倉庫群に重層する明治期からの物語が、これからはじまる舞鶴の未来を創ります。

### 【整備方針】

- ◆イメージ・魅力の活用と向上を図る整備の実施
- ◆人の賑わいと流れを生み出す整備の実施
- ◆150万人を受入れる基盤整備の実施

### ①赤れんが倉庫の保存と活用

国の重要文化財である赤れんが倉庫群の保存と活用を進め、地域住民にも開かれたオープンな拠点として整備します。

### ②広場整備

防衛省三角地を、赤れんがパークのゲートウェイとして、道の駅や交通ターミナル機能を導入するとともに、来場者を迎え入れる広場として整備します。  
また、パーク内においても景観的特徴を踏まえた広場の整備を行います。

### ③親水エリア整備

海沿いにボードウォーク等を整備し、エリアの回遊性を高めるとともに、来訪者が「赤れんが」「海・港」を身近に感じることができる親水エリアを整備します。

### ④市役所前整備

来庁者の安全対策を講じるとともに、路線バス等の乗降場所を整備し、利便性の向上を図ります。

### ⑤道路・歩道・交差点計画

車でのアクセスを向上させ、混雑時の渋滞緩和に資する道路整備を行うとともに歩行者の安全を確保します。

### ⑥駐車場整備

来場者の増加を想定して新たな駐車場を整備するとともに、駐車場の有料化を検討します。

## 3. 整備スケジュール及び概算事業費

- ・事業期間 平成31年度～(概ね10年)
- ・総事業費 約30億円(用地買収費等含まない)

## 4. 民間活力の導入調査について

### ◆事業者の意向

民間事業者は、歴史・観光の観点から本エリアのポテンシャルは高いと考えており、「赤れんが倉庫」「文庫山施設」等において、飲食、物販、宿泊事業などの実施可能性がります。

事業手法としては、改修・維持管理・運営を一体的に民間に委託し、資金調達も民間が行うPFI(RO)方式や、コンセッション方式が考えられます。

### ◆導入効果

赤れんが周辺等のさらなる賑わいを創出(来場客数の増加)し、エリアマネジメントを導入することで、市街地への波及効果を図るとともに、民間事業者が事業参画できるよう進めてまいります。

## 5. 整備効果

### ◆回遊性の向上

本事業は、建物単体整備ではなく、「面」としての整備をすることにより、パーク全体の魅力的なコンテンツを散在させ、来場者の動線を広げる試みによって、赤れんがパーク内及び周辺地域でさらなる回遊性を生み、市街地への経済波及効果を創出します。

### ◆滞在時間の延長による地域消費額の増加

来場者の滞在時間を延長し、飲食や物販での消費機会の増加を図ります。



全体イメージ図

# 舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり実施計画【全体計画図】

